



アパルトヘイト礼賛一曾野綾子

産経新聞 2月21日

産経新聞に曾野綾子氏の「労働力不足と移民」が載った。

移民の資格、語学力

高齢者の介護の為の移民には資格や語学力は不要と云う。即ち、「衛生上の専門的知識は無くても孫は祖母の面倒を見ることが出来る。『これ食べるか?』程度の日本語なら外国人でも二、三日で覚えられる」という。孫が祖母の面倒を見るとしても孫の親は衛生上問題のあることはさせない。「食べるか?」と云う言葉だけなら、すぐ覚えられるが、問題は、状況を理解した上で話すこと。曾野流で問題ないなら誰も英語で苦労しない。

か?自分はお金があるから大丈夫か? 不法滞在させない

曾野氏は移民の条件、契約を守らせ、不法滞在はさせないと云う。賃金の殆どを押さえ、帰国時に渡す事例がある。長時間労働などに不満を云うと解雇され「雇用契約がない」と強制送還される。賃金も受け取れない。文句も言えないのだ。

アパルトヘイト

そして曾野氏は白人、アジア人、黒人と居住区を分けるといふ。白人居住区には、アジア人、黒人は入れると云うこと。正にアパルトヘイト=南アフリカで否定された人種隔離政策だ。みなさんはどう思われますか?



大井町柳地域
二〇一五年二月

東名高速を走り、秦野を過ぎると大井松田インターの北側に大井町の柳という地域がある。東名高速の南側から柳地域を眺めた。

倉敷に行つて丘の上から家並みを眺めたら、すべて黒い瓦。水墨画の世界。どうやって水彩画にしようかと途方に暮れた。一方、イタリア辺りでは、全て赤い瓦、壁は黄土色。

ところが、この柳という一帯、色々な色の屋根がある。これほどのバリエーションはなかなか見たことがない。どうしてこうなるのか? 屋根屋さんが色々なアイデアを提案しているのか? 大工さんが色々提案しているのか? はたまた地域の方々が「お隣とは別の色にしたい」と考えているのか?

来週はお休みします